

みなさん、こんにちは。

4月1日(日)より当館は市直営から指定管理者による管理・運営が始まります。博物館のホームページアドレスも変更になりますのでよろしくお願ひします。

1. 春季特別展 山種美術館所蔵「華麗なる美人画の世界」は4月7日(土)から

昨年の「与勇輝展」から1年、今年の春季特別展は観覧者アンケートでも開催希望の多い日本画を特集します。今回は山種美術館(東京都千代田区)が所蔵する日本を代表する日本画家の上村松園、川端龍子、土田麦僊、小倉遊亀、伊東深水、石本 正 等が描いた女性美の名品に加え、洋画の和田英作、安井曾太郎、林 武の美人画をあわせて50点を一堂に紹介します。

平成14年4月に開催した「現代日本画の自然美展 ~ 花鳥と風景画を中心に」に続く、山種美術館の所蔵作品がやってきます。それぞれの作品が持つ豊かな色彩と繊細な線が生み出す女性の表情やしぐさ、伝統美をお楽しみ下さい。



上村松園「春のよそをい」1936年頃



奥村土牛「朝市の女」



片岡球子「むすめ」

講演会

「美人画の魅力と山種コレクション」

講師 山種美術館副館長 山崎 妙子 氏

日時 4月14日(土) 14:00 ~

会場 本館2階会議室

要観覧料(電話予約が必要です。4月1日午前9時から受付開始。先着100名様)

2. 渡辺うめさん 100歳記念の人形展 今夏、うめさんの人形たちが文博に戻ってきますよ

3月24日(土)人形作家の渡辺うめさんの100歳を記念した誕生会が特別養護老人ホーム恵泉で開かれました。ファンや関係者が50名以上集まりました。うめさんの住んでいた養父市宿南からの参加者も。うめさんは車椅子に乗りながらも背筋がしゃんと伸びて、大変お元気そうな様子。「抱きつきたい方もたくさんいるけど、一人に抱きつくると全員にしないといけなから無理ね」と、うめさんのユーモアあふれた言葉に会場は笑い声に包まれました。

うめさんは1907年3月23日青森県に生まれ、ご主人の故郷である旧八鹿町(現養父市)に疎開したあと75歳から農民人形を作り始めました。当館では平成16年7月~9月に「渡辺うめ展 あぜみちの詩」を開催し、好評を得ました。今夏、うめさんの人形たちが文博に戻ってきますよ。

「渡辺うめ人形展」開催予定 平成19年7月28日(土)~9月2日(日)



握手するうめさん(左)



娘さんと一緒に



なつかしい情景を表現した作品